

単位数	2単位	副教材等	リードLightノート生物基礎（数研出版） 改訂版 生物 準拠ノート 第1巻
学年・学級	3年A～F組選択		
教科書	高校 生物基礎 改訂版（実教出版）		

1 学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容・学習活動	評価方法
第1学期	4	細胞と分子	タンパク質の構造と性質	基本的な構造を学習したうえで、酵素など、その立体構造と生命活動において果たすはたらきとの関連を理解する。	授業内の発表 授業プリントの提出
	5		細胞の構造	細胞小器官や細胞骨格、生体膜など、細胞の内部構造について学習する。さらに、物質輸送や情報伝達・認識にかかわるタンパク質について学習する。これらの学習を通じて、細胞活動においてさまざまなタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを理解する。	ワークの提出
			中間考査		1学期中間考査
	6	代謝	呼吸と発酵	「生物基礎」で概要を学習した呼吸・光合成について、その詳細なしくみを理解する。呼吸においては、各過程の反応を学習し、その際、有機物が分解され、ATPが合成されることを理解する。	授業内の発表 授業プリントの提出
	7		光合成	「生物基礎」で概要を学習した呼吸・光合成について、その詳細なしくみを理解する。光合成においては、各過程の反応を学習し、その際、光エネルギーが化学エネルギーに変換されることを理解する。	ワークの提出
			期末考査		1学期期末考査
第2学期	9	遺伝情報の発現	DNAの構造と複製	「生物基礎」で学習したDNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。その際、遺伝情報の変化についても学習する。	授業内の発表 授業プリントの提出
	10		遺伝子の発現調節	「生物基礎」で学習したDNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。その際、遺伝子の発現調節の概要を、転写レベルの調節を中心に学習する。	ワークの提出
			中間考査		2学期中間考査
	11	生殖と発生	減数分裂と遺伝情報の分配	染色体に遺伝子が存在することを学習したうえで、有性生殖では、減数分裂の際に遺伝情報が分配される過程について学習する。	授業内の発表 授業プリントの提出
	12		遺伝子の多様な組み合わせ	染色体に遺伝子が存在することを学習したうえで、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解する。	ワークの提出
			期末考査		2学期期末考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	生殖と発生	初期発生の過程	動物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を学習する。	授業内の発表
	2		細胞の分化と形態形成	細胞の分化や形態形成のしくみについて、誘導現象を中心に理解する。前後軸形成のしくみと形態形成を調節する遺伝子について学習する。	授業プリントの提出 ワークの提出
	3		学年末考査	学年末考査	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	生物の現象について積極的に理解する姿勢があるかどうか。
知識・理解	自然の事象や現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的・客観的な見方・知識を身につけているか。
思考・判断	過去に習った知識と新しい知識を常に関連づけているか。
技能・表現	技能を習得し、探求する方法を身につけ、過程や結果及びそこから導出された自らの考えを表現しているか。

4 評価の方法

<p>下記の(1)～(3)の項目を、評価の観点別(関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。</p> <p>(1) 授業への取り組み (2) 提出物 (イラストや色使いが重要) (3) 中間・定期考査</p>
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>まずは50分を集中するところから始めましょう。それは、高校だけではなく、上級学校の90分授業にも慣れるためです。</p> <p>また、授業内は様々な刺激を用意しています。みなさんの頭も柔軟に、自由な発想で授業に臨んでください。</p> <p>「生物」を勉強すると、「ふつうとは」何かが分からなくなります。 自分中心、人間中心であった世界が広がっていくことを肌で感じてください。</p>
